

教育長室だより

第 23 号

2020.12.4

朝夕の冷え込みに冬の到来を肌で感じます。新型コロナウイルスはこのところ第3波と言われる急な拡大を見せています。そしてインフルエンザ感染との同時流行がツインデミック（パンデミックが二つ重なる）などという言葉とともに心配されています。

学校では精一杯の予防策をとりながら活動を進めており、今のところ子どもの感染は起こっていません。しかし、油断は禁物です。常に対策を怠らないよう声を掛け合っています。良い年を迎えるためにも家族そろって健康であることをお祈りします。

○

さて、今回は「コミュニケーション力」について考えてみたいと思います。

近年、子どもや若者が社会に出る際に、どんな能力が一番大事かという問いに対しての答えとして「コミュニケーション力」がもっともよく出てくると言われています。つまり社会においては“人と関わる力”が様々な能力の中でもっとも大事だという意見が多いということになります。人に正確に物事を伝える、人から正確に物事を聞き取り理解するといったことが基礎になります。もっと進んで、人と意見が合わない場合に、うまく話し合って“落としどころ”すなわち合意点を見つける能力というような難しいこともコミュニケーション力に含まれます。

○

AIが急速に発達し、社会での“人間の役割とは”を考えるときに「コンピュータにできないこと」という点からもコミュニケーション力が問われると言われます。現に会社の採用試験などでも人と関わる力が重視されるという話も聞かれます。

とはいいながらコミュニケーション力というものは、なんとなくわかっていても生活実感としてわかりにくいのでしょうか。

○

大学の入学試験や採用試験の面接に何度か立ち会ったことがあります。

最近では試験の面接もずいぶんマニュアル化されているようで、聞かれたことによみなく素晴らしい答えが返ってきます。しかし、同じようにスムーズに応答している中でも、なんだか機械的に“正答”と思われることを記憶から引き出して答えているような感じのものと、自分で考えて自分の言葉で話しているものがあるように思います。前者はなるほどよく言えていると感心はしても、その人となりについて伝わるものがあまりありません。一方後者は、ときおり言葉に詰まる瞬間があっても自分の思いを伝えようとしていることや姿勢としての誠実さが切実に伝わります。

○

とある本にこんな話が載っていました。

ある日本人がフランスのスーパーでマグカップを買いました。そのとき店員に何か言われたが聞いたことがあるよう言葉だがよくわからない。何度か聞き直したが店員の方があきらめて、カップを包装し始めた。気になるのでレジでもう一度ゆっくり「先

ほど僕に何を聞いたのですか」と言う。「郵便番号を聞いたのです」とゆっくりと言う。住んでいる地域と売れる商品についてデータをとっているとのこと。

ここで本の著者の内田樹氏は、このときレジでわざわざゆっくりと聞き直したことでやっとコミュニケーションがとれたということを強調します。自分が普通しないことをしたこと、そして店員も通常しない説明をしたことではじめて意味がわかったのだそうです。

コミュニケーション力とはコミュニケーションをうまく進める力でなく、コミュニケーションがうまくいかないときにそこから抜け出す力だと言います。

○

コミュニケーション力と一言で言ってもこんなに奥の深いものかと驚いたと同時に、私たちがつねにコミュニケーション力が大事だと言うときにももっと考えるべきことがあるように感じたわけです。

○

『人は見た目が9割』という本があります。この“見た目”は美人であるとかハンサムであるというような単なる見た目を指すものではもちろんありません。

人が人に何かを伝える場合、話す言葉の意味そのもので伝わる以外に、話す際の声やしゃべり方、表情など言葉の内容以外のところで多くが伝わると言う意味です。

話す“言葉”以外のそういうところの方が言葉よりもはるかに多くのことを伝える、あるいは伝わってしまう、と言う意味のようです。言われてみれば確かに“何を言われたか”より“どう言われたか”の方が印象に残ることも多いように思います。

○

とすれば、コミュニケーション力を培うにはどうすれば良いかがまた問題です。なにしろコミュニケーション力はこれからの世の中を生きる上ですごく重要だと言われているわけですから。しかし、どうすれば身につくかはつかみ所がありません。

○

一つには人としての力、“人間力”と言われるものがこれに関係するのだと思われます。自己肯定感（基本的に自分を信頼していること＝自尊感情）、他人を信頼しようとする姿勢、何事にも誠実に取り組もうとする力、健康な体と心……ほかにも様々な要素が人間力には含まれます。この人間力が人に物事を伝えたり、人から物事を受け取ったりする力の元になるのだと思います。

○

そう考えればコミュニケーション力を身に付けさせるためには、言葉の力を高める前に、人としてしっかり生活していく基本的な習慣がまず基盤となるでしょう。

愛されているという実感を持って育てられる、自分も他者も大切に人としてのモデル（としての大人）を見て育つ、など通常大事だと言われることがこれを支えるもとになると考えられます。

○

AIによって社会のシステムが大きく変わるといわれますが、そこで生きていく際にもこれらの基本的なことは常に大事だということだだと思います。